

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2005-067245  
起案日 平成17年 8月24日  
特許庁審査官 白石 光男 8304 2L00  
特許出願人代理人 恩田 博宣(外 1名) 様  
適用条文 第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(請求項1-4、13、14、16に対して)

引用文献1、2を参照。

引用文献1には、基板2、7を紫外線硬化型のシール材を用いて貼り合わせる技術事項が記載されている。

引用文献2には、紫外線硬化型の封止剤への紫外線の照射量を積算光量計で管理する技術事項が記載されている(【0031】)。

引用文献1において紫外線硬化型のシール材への紫外線照射量を測定し管理するようになし、照射量を調整する貼り合わせ基板硬化装置である本願の請求項1-4、13、14、16に記載される発明をなすことは当業者にとって容易である。

(請求項8に対して)



引用文献1～3を参照。

引用文献3には、液晶基板をステージ2（本願の請求項8に記載される「搬送用平板」に相当する）により搬送する技術事項が記載されている。

（請求項12に対して）

引用文献1～4を参照。

引用文献4には、減圧下で液晶基板に所定の処理を実施する技術事項が記載されている。

そして、基板硬化装置を減圧可能な容器に収納することは当業者が必要に応じて実施しうる事項にすぎない。

（請求項5～7、17に対して）

引用文献1～5を参照。

紫外線硬化を所定温度で実施することが引用文献5に記載されている（【請求項1】）。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

#### 引用文献等一覧

1. 特開2000-206548号公報
2. 特開2000-147525号公報
3. 特開平10-62774号公報
4. 特開平11-288995号公報
5. 特開平11-287978号公報

先行技術文献調査結果の記録

調査した分野 IPC第7版

整理番号:0140832-3 発送番号:318305 発送日:平成17年 8月30日 3/E

G 0 2 F 1 / 1 3 3 9 5 0 5

この先行技術調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知書の内容、面接希望の問い合わせ先：

特許審査第1部光デバイス 白石 光男

電話 03-3581-1101 内3293